

恵庭市議会
民主・春風の会
「令和８年度政策要望書」
についての回答

(令和８年７月末現在)

恵庭市

1 市民による市民のためのまち

(1) 「市民サービス向上のため、行政手続きのデジタル化（オンライン申請の導入）や RPA（ロボットによる業務自動化）の導入など ICT（情報伝達技術）/IoT（モノのインターネット）を活用した事務効率化と働き方改革の推進」

回答	総務部情報政策室 情報政策課
予算額（令和 8 年度）	495,047 千円
恵庭市デジタル化推進計画に基づき、行政手続きのオンライン化など市民利用サービスのデジタル化をはじめ、自治体情報システムの標準化・共通化、デジタルを活用した業務改革など、本市ならではの自治体 DX を進めて参ります。	

(2) 「公共施設マネジメントの推進」

回答	総務部 財務室 管財・契約課
予算額	—
「公共施設等総合管理計画実施計画〈第 2 次プログラム・個別計画（前期 5 か年）〉」に基づき、市民生活に影響の少ない施設の用途廃止のほか、公共施設の更新・統廃合を進めています。令和 8 年度につきましては、島松地区複合施設整備などを予定しています。（令和 8 年度島松地区複合施設整備費 1,361,932 千円）	

(3) 「近隣自治体との広域連携による事務事業の効率化」

回答	企画振興部 企画課
予算額	—
「さっぽろ連携中枢都市圏ビジョン」及び「千歳市・恵庭市連携施策の充実拡大に関する覚書」に基づき、各部署にて広域連携を進め、事務事業の効率化等を図っていきます。	

2 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

(1) 「各種災害を想定した防災施策の充実」

回答	総務部 基地・防災課
予算額（令和8年度）	16,678 千円 ※無線放送施設管理費、災害対策事業費
市では、災害から市民等の生命と財産を守るため、恵庭市防災会議を設置し地域防災計画を策定しており、計画に基づき平時の備えや災害時の対応が円滑に実施できるよう、様々な防災の取り組みを推進しています。平時の備えとしては、防災ガイドブックを作成し市民全世帯に配布することで「自助」の啓発を促しており、令和7年度にはWEB版ハザードマップを市HPに掲載しスマホ等から手軽にハザードリスクを確認できるようシステムを整備しました。災害に係る情報伝達については、防災行政無線の整備をはじめ、メール配信サービス、市公式LINEや市ポータルアプリえにわか、SNSの活用など多重化、多様化も推進するほか、FM緊急防災ラジオを必要とする方が購入しやすいよう、本体価格の半額を助成する事業も実施したところです。また、避難行動要支援者が災害時でも安全に避難できるよう個別避難計画の作成を推進しており、平時から自主防災組織や福祉サービス事業者などと連携し「共助」のネットワークを構築すべく取り組んでいるところです。さらに自主防災組織活動支援助成金は地域のニーズにあった支援メニュー拡充や要件緩和を行い、組織の設立を支援するとともに、防災に係る様々な研修活動を支援しています。そのほか、防災備蓄品整備、地域版避難所運営マニュアル作成、総合防災訓練や災害対策本部訓練の実施などにより、今後も市の災害リスクや地域の実情、市民等のニーズに応じた防災施策に取り組めます。	

(2) 「高齢者・障がい者のための各種計画の確実な推進」

回答	保健福祉部 障がい福祉課 保健福祉部 介護福祉課
予算額（令和8年度）	障がい福祉課 2,381 千円 介護福祉課 183 千円
（介護福祉課）：計画期間を令和6～8年度とする「第9期恵庭市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を着実に推進していきます。令和7年度は、次期の第10期計画策定のためアンケート調査を実施しており、令和8年度は調査結果等を基に、恵庭市社会福祉審議会 高齢者福祉・介護保険専門部会に諮りながら計画を策定いたします。 （障がい福祉課）：計画期間が令和6年度からの「えにわ障がい福祉プラン」を着実に推進します。また、令和9年度を計画初年度とする次期えにわ障がい福祉プランの策定を行います。	

(3) 「消防救急体制の充実」

回答	消防本部 警防課
予算額（令和8年度）	- 札幌圏消防通信指令業務共同運用事業 43,610 千円 - 救急支援システム運用事業 1,574 千円 - マイナ救急運用事業 139 千円 - 消防ポンプ自動車（第3分団）更新整備事業 42,680 千円
—	

(4) 「大雪による雪害対策と除雪体制の更なる充実」

回答 1	総務部 基地・防災課
予算額（令和 8 年度）	2,357 千円※災害用備蓄品整備事業費（備品購入費）
冬期の災害では、防寒対策が非常に重要となることから、市では第 2 期災害用物資備蓄計画後期計画に防寒に係る備蓄の拡充を明記し、予算の範囲内で計画的に整備しているほか、灯油等の燃料については、防災協定締結先と連携しすみやかに調達できる体制をとっています。除雪体制の拡充については、降雪期前に庁内連絡会議を設置し、大雪や暴風雪などの気象情報や除雪状況、被害状況などを随時共有することで、雪害の影響を最小限に抑える体制をとっています。	

回答 2	建設部 管理課
予算額（令和 8 年度）	644,688 千円
令和 3 年度の大雪を教訓に大雪時には除雪に係る庁内連絡調整会議にて全庁的に対応することで進めております。また、通学路やバス路線など路線の優先度を定め大雪に備えた予防排雪に取り組むほか、公園・緑地への雪入れ箇所の拡大を図り市内の道路交通確保に必要な除排雪を実施してまいります。	

(5) 「カスタマーハラスメント対策の推進」

回答	総務部 職員課
予算額（令和 8 年度）	198 千円
市役所庁舎の固定電話の一部に通話録音機器を導入することで、著しい迷惑行為を抑止する対策を行います。令和 6 年 12 月にカスタマーハラスメント対応指針及びマニュアルを作成し、職員と職場環境に負担や支障を与える状況を可能な限り回避して、問題解決に向けたエネルギーを浪費させないようにハラスメント行為に対する理解を深め、電話通話録音機器の導入などの予防策を講じるとともに問題が発生した際の迅速で効果的な対応を徹底していきます。	

3 希望と活力に満ちたまち

(1) 「市内 JR 3 駅を中心としたエリアマネジメントの推進」

回答	企画振興部まちづくり拠点整備室 まちづくり推進課
予算額	—
駅周辺のまちづくりについて、住民・利用者・事業者等が主体的に取り組む地域の価値の向上・維持管理・運営に向けたまちづくり活動等に対して、必要な支援を行います。	

(2) 「移住オーダーメイドツアーなど移住促進に向けた取り組みの推進」

回答	企画振興部 シティプロモーション課
予算額（令和 8 年度）	11,113 千円（移住促進事業費）
移住検討にあたり本市への関心を喚起する情報発信や、移住検討の過程で生じた疑問や悩みに応えるイベント等での相談対応を行うほか、移住の決断段階での恵庭暮らしのイメージ作りに資するオーダーメイドツアーなど、移住希望者の検討段階に応じた様々な支援を通じて、本市への移住を促進します。	

(3) 「農・商・工等の地場産業育成地域経済の活性化対策の推進」

回答	経済部 農政課 経済部 商工労働課
予算額（令和 8 年度）	【農政課】 ■農業振興対策費（予算額 49,626 千円の内、1,000 千円） ・農業振興イベント支援事業費補助金 1,000 千円（継続） 市民と農業者の交流を図ることを目的として、既存施設を活用した農業振興イベントに対する支援を実施します。 【商工労働課】 ■一般事務費（予算額 527 千円） ■中小企業振興対策事業費（予算額 208 千円） 中小企業振興基本条例の適正な運営を図り、令和 8 年度から 5 年間の計画期間である第 3 期恵庭市中小企業振興基本計画に基づく各種事業について、進捗管理及び効果検証を行うとともに、起業・事業承継等の個別相談業務を実施する。 ・商工総務費一般事務費 527 千円 ・起業支援・事業承継支援相談業務 208 千円
—	

(4) 「労働者の労働環境、就労等に関する相談体制の整備と若年層の雇用対策の推進」

回答	経済部 商工労働課
予算額	—
相談体制の整備については、ジョブガイド恵庭の設置により行っているところであるが、国の運営要領に基づき事業が実施されていることから、これ以上の事業内容や機能変更などといったことについて、市として申し上げることはできないと考えております。 市としては、恵庭市人材確保計画の着実な推進に向けた取り組みを進めます。	

（５）「花の拠点「はなふる」の冬季も含めた効率的な運営の実施」

回答	経済部 花と緑・観光課
予算額（令和８年度）	【花の拠点運営事業費】 指定管理料 167,083 千円
令和８年度から令和１２年度までの５か年を期間とする新たな指定管理業務が開始されました。本期間においては、これまでの施設管理者間の連携による運営体制を継続・深化させるとともに、指定管理者からの提案に基づき、PDCAサイクルによる業務改善や予防保全による効率化、冬季イベント「スノーフェスタ」の拡充などに取り組み、通年での賑わい創出と効果的な施設運営を図ってまいります。	

（６）「「2024 年問題」に直面している産業（建設業、医師、自動車運転）の業務の深刻な人材不足に伴い、労働環境の悪化が懸念されることから賃金・労働条件の向上に繋がる施策を講じるよう、国に対して働きかけを実施」

回答 1	保健福祉部 保健課
予算額	—
医師の働き方改革実施に伴い、勤務医に対する時間外・休日労働時間の上限規制が設定されました。こうした国の動きによって、医師の労働条件については改善が図られているものと認識しています。	

回答 2	経済部 商工労働課
予算額	—
賃金・労働条件の向上は重要なものであると考えていることから、国や道の動向を注視するとともに、必要に応じ、関係機関への要望を検討します。	

4 人が育ち文化育むまち

(1) 「在住外国人への日本語習得支援など在住外国人のための環境整備」

回答	企画振興部 企画課
予算額（令和8年度）	3,168 千円
外国人にとっても住みやすいまちとなるよう、多言語通訳システム（第三者通話）の導入や、ホームページでのやさしい日本語変換ツールの導入を進めます。また、多文化共生に関する理解をより深めるためのイベントである「多文化共生フェスタ」を開催します。	

(2) 「子どもの貧困対策やヤングケアラーへの対応強化」

回答 1	子ども未来部 えにわっこ応援センター
予算額（令和8年度）	8,500 千円（1,700 千円×5 か所）
○子どもの貧困 【子どもの生活学習支援事業】 ・第3期えにわっこ☆すこやかプラン(令和7～11年度)に基づき、関係部署や関係機関と連携し、こどもの貧困解消の取組みを推進します。 ・様々な生活上の課題等を抱える子どもたちの生活の向上や居場所づくりの充実のため、NPO 法人等に委託し、市内5か所で学習支援や食事提供等を行う「子どもの生活学習支援事業」を実施しています。	
予算額	—
○ヤングケアラー ・ヤングケアラーに関するポスターの掲示、リーフレット、相談窓口周知カードの配布を行い周知啓発活動を実施します。 ・福祉・介護・保健・教育・就労等の関係機関と連携し、ヤングケアラーの実態の把握及び包括的な相談支援体制を構築していきます。	

(3) 「子育てと仕事の両立を望む労働者に対するきめ細やかな支援」

回答	子ども未来部 子ども政策課
予算額（令和8年度）	357,183 千円 (学童クラブ運営費・松恵子どもクラブ事業費・ファミリーサポート事業費・長期休み学童預かり事業費)
第3期えにわっこ☆すこやかプラン」に基づき、多様なニーズに対応できる事業について、計画的な推進を図っています。	

(4) 「学童保育（放課後児童クラブ）の職員（放課後児童指導員）の処遇改善」

回答	子ども未来部 子ども政策課
予算額（令和8年度）	29,600 千円 (学童クラブキャリアアップ処遇改善事業・放課後児童支援員等処遇改善事業)
学童クラブ支援員の人手不足の解消、離職防止、定着を目的とした賃金改善への補助を継続して行っています。	

(5) 「学童クラブの開設時間の19時までの延長」

回答	子ども未来部 子ども政策課
予算額	—
学童クラブ支援員の確保や、費用対効果について検討を行います。	

(6) 「「こども誰でも通園制度」の本格実施に向け、受け皿の確保や保育現場の負担軽減」

回答	子ども未来部 幼児保育課
予算額（令和8年度）	7,064 千円
生後6か月から3歳未満の未就園児を対象に、月一定時間まで、保護者の就労要件と問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度です。令和7年10月より市内4か所で事業を開始しました。	

(7) 「オンライン教育や小・中学校施設の長寿命化など教育関連予算の充実とすべての子供に行き届く教育施策の推進」

回答	教育部 教育総務課、教育施設課
予算額	—
（オンライン教育）国のGIGAスクール構想が示すオンライン環境の整備が完了し、小中学校では対面での授業を基本としながらも、様々な事情で登校できない児童生徒に対応するため、必要に応じてオンラインでの授業配信を可能としています。 なお、小・中学校施設の長寿命化につきましては、恵庭市学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に進めて参りたいと考えておりますが実施までの間は適切な改修・修繕を行っています。	

(8) 「芸術・文化、スポーツの振興施策の推進」

回答1	保健福祉部 健康スポーツ課
予算額（令和8年度）	43,405 千円
恵庭市運動・スポーツ推進計画に基づき、スポーツに関する各種施策を推進しているところであり、今後も関係機関等と連携しながら、スポーツに関する各種施策を推進して参ります。	

回答2	教育部 社会教育課
予算額（令和8年度）	18,929 千円
恵庭市生涯学習基本計画に基づき、文化芸術活動に関わる人材との連携を強化すると共に、文化の発信の場としての夢創館や各種施設等を利活用しながら、文化芸術活動を推進します。	

5 地域資源・都市基盤を活かすまち

(1) 「円滑なゴミ収集体制の実施」

回答	生活環境部 ゼロカーボン推進室 廃棄物管理課
予算額	—
廃棄物処理法施行令第4条各号に規定する基準に従い、効率性や経済性など総合的な観点から恵庭のごみ処理体制の最適化を進め、円滑なごみ収集体制の構築に向けて取り組んで参ります。	

(2) 「バリアフリー特定経路整備事業による歩道整備・改修の促進」

回答	建設部 土木課
予算額（令和8年度）	42,400 千円
恵庭大通の歩道バリアフリー化工事を予定しておりましたが、社会資本整備総合交付金の配分状況が厳しかったことから、次年度以降に先送りし実施してまいります。	

(3) 「生活道路の整備強化」

回答	建設部 土木課
予算額（令和8年度）	135,619 千円
予算区分	調整交付金道路整備事業 75,390 千円 地方道路等整備事業費 60,229 千円
未舗装道路の改良舗装工事（9路線 L= 517m）を実施しております。	

(4) 「循環型社会の実現に向けた取組みの推進」

回答	生活環境部 ゼロカーボン推進室 廃棄物管理課
予算額（令和8年度）	・古着拠点回収 ・廃食油拠点回収 ・ごみ分別・指導啓発（LINE, SNS, HP等の活用） ・循環型社会推進費-使用済小型家電機器等回収委託 予算額 1,274 千円 ・循環型社会推進費-資源回収団体奨励金 予算額 5,823 千円
—	

(5) 「地域公共交通の維持・活性化」

回答	生活環境部 生活環境課
予算額（令和8年度）	178,401 千円
エコバスについては、地域公共交通計画に基づき、ルートやダイヤの検証の結果、令和7年9月から既存路線のバス停留所増設及び新規路線の試験運行を実施し、令和8年7月から本格運行を開始しています。 エコタクについては、エコバス路線変更など交通空白地域に変更があった場合に対応するとともに、令和7年度から指定施設に総合体育館と子育て支援センター6箇所を追加しています。	